



地球温暖化防止

CO₂排出量の削減目標の達成に向けて、製造工程や輸送工程などにおいて、さまざまな取り組みを実施しています。

● 地球温暖化防止

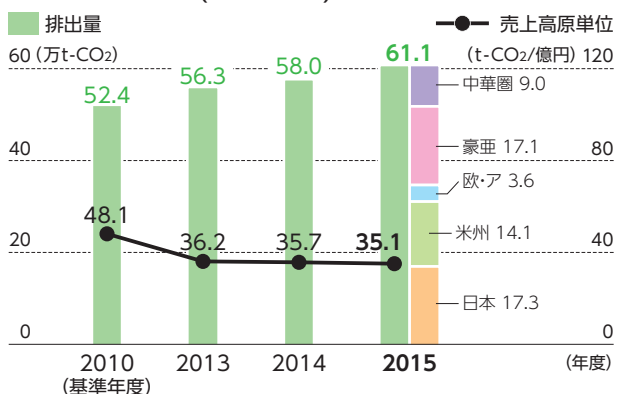
生産事業所およびオフィスでの省エネルギー活動

矢崎グループでは「グローバルでCO₂排出量を原単位で、2020年度までに2010年度比で20%削減する」という目標を掲げ、省エネルギー活動などに取り組んでいます。

生産部門では、設備の稼働時間の見直しやLED照明の導入を行いました。また、欧州の各事業所ではグリーン電力への変更を推進しました。オフィス部門では、昼休憩時の一斉消灯やパソコンのECOモードの導入推進により、従業員一人ひとりに省エネルギーの意識を定着させることをめざしています。2015年度はグローバルで約8,700トンの削減対策を実施しました。

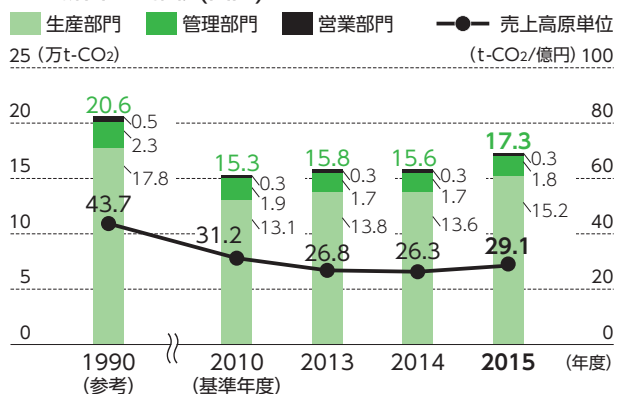
また、売上高原単位は35.1トン-CO₂/億円で、2010年度比27.0%の削減となりました。国内矢崎グループでは、2015年度の売上高原単位は29.1トン-CO₂/億円で、2010年度比6.8%減となりました。

CO₂排出量の推移(グローバル)



※ 当社会計方針の変更にもともなう2014年度連結売上高の変更により、2014年度の売上高原単位を変更しました
 ※ データを遡って見直した結果、基準年度の数値を変更しました

CO₂排出量の推移(国内)



自社製品によるCO₂削減貢献

太陽熱利用機器や木質ペレットを燃料とした冷暖房機器はCO₂削減に寄与する製品です。『木質ペレット焚バイオアロエース』は、カーボン・ニュートラル*の考えのもと、木質ペレットを利用した世界初の冷暖房機で、化石燃料消費を削減することにより1台あたり年間で約30トンのCO₂削減効果があります。

これらの製品による2015年度のCO₂削減貢献量は7.2万トンとなり、2011年度からのCO₂削減貢献量は、累計で20.9万トンとなりました。

※ カーボン・ニュートラル 燃焼や分解にともなって排出されるCO₂量と、自然界で森林や植物などに吸収されるCO₂量が同じ状態

グリーン物流の推進

国内矢崎グループでは、国の指針に基づき「輸送におけるエネルギー消費量原単位の前年度比1%削減」を目標に掲げ、輸送効率の改善に取り組んでいます。

2015年度の国内物流にともなうCO₂排出量は、対前年度比3.7%減の1.9万トンとなりました。また、輸送量(トンキロ)あたりのCO₂排出量は前年度比4.7%減の136.2g-CO₂/トンキロとなりました。これは集荷拠点の変更による輸送距離の削減や輸送ルートの見直しなどによる輸送効率の向上によるものです。今後も各部門と連携をとり、省エネルギー化およびCO₂排出量の抑制に取り組んでいきます。

Topics

太陽光発電システムの設置

中国・杭州市では、企業に対し省エネルギー目標値を設定しています。また、使用電力量がピークとなる夏には電力供給制限があり、安定した稼働のためにも予備電力の確保を必要としていました。

そこでHZY(中国・杭州市)では2015年12月、工場の屋上に総面積933㎡の太陽光発電システムを導入しました。2016年3月に稼働を開始し、発電量は年間59,400kWhとなり、年間43.6トンのCO₂排出量の削減に貢献しています。このシステムの導入により、省エネルギー目標値の早期達成や、電力供給制限時における安定した電力供給を可能とし、再生可能エネルギーを使用することで環境保全にもつながっています。

